

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
110040	X-01-A-2-110040	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
資源とエネルギー				澤口 晋一	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	選択	1年
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	1年
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
			【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年		

授業目的

この科目は履修水準2（発展的水準）であり、2年生以上の履修科目である。
現在のあらゆる物質文明はエネルギー資源（特に化石エネルギー）の利用によって支えられている。このことは換言すれば、エネルギー問題は人類の将来を支配する問題でもあることを示している。にもかかわらず、皆さんには（私たちは）資源やエネルギーとそれが抱える問題について体系的に勉強するという機会ほとんどなかったはずである。将来にわたって持続可能な社会を実現していくためには、ひとり一人が資源エネルギーに関する一定の知識を持つことはきわめて重要なことである。本講義ではエネルギー資源の種類や性質等に関する基本的な事項を概説したのちに、エネルギー資源に関するいくつかの問題を取り上げ考えてみたい。なお、授業ではパワーポイントと同じ内容の資料（カラー）を配布し、それにそって授業を進めるが、資料は毎回、翌週使用するものを配布し、事前学習が可能となるようにしている。資料は人数分しかコピーしないので、前週に配布された資料を必ず持参のこと。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 地球の歴史と資源の生成 【前・後】 事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第2回 【授】 資源の種類と分類 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第3回 【授】 現代の資源エネルギー問題① 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第4回 【授】 現代の資源エネルギー問題② 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第5回 【授】 エネルギー資源の種類とその利用 1. 化石エネルギー 1) 在来型：石油、石炭、天然ガス 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第6回 【授】 エネルギー資源の種類とその利用 1. 在来型：石油、石炭、天然ガス 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第7回 【授】 エネルギー資源の種類とその利用 1. 在来型：石油、石炭、天然ガス 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第8回 【授】 エネルギー資源の種類とその利用 2. 非在来型：タールサンド、オイルサンド、シェールガス、メタンハイドレート 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p>	<p>第9回 【授】 再生可能エネルギー 1. わが国の再生可能エネルギー政策とその変遷 2. 太陽光 3. 風力 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第10回 【授】 再生可能エネルギー 4. バイオマス 5. 地熱 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第11回 【授】 原子力① 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第12回 【授】 原子力② 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第13回 【授】 原子力③ まとめ：日本のエネルギー政策とその問題点 【前・後】 事前：前週配布資料を通じての予習（2時間）。事後：当該週配布資料の見直しと確認。不明点を調べ理解する（2時間）</p> <p>第14回 【授】 試験</p> <p>第15回</p> <p>第16回</p>
--	---

成績評価方法

成績評価は、定期試験（60%）のほか、授業内に小テストを2回実施（10点×2回=20%）、さらに授業外レポート1回（20%）を課し、その総合点で行う。なお、授業では毎回コメントペーパーを提出させている。そのなかで、質問や意見で特に必要なものについては、詳しい説明や解説を、翌週15～20分程度時間をとって行うことでより深い理解と興味を引き出すよう努める。なお、授業外のレポート課題については、第10回目前後の授業時において提示し、この提出をもって1回分の授業実施および出席とみなす。

教科書・参考書

特に指定しない。資料を毎回配布する。

受講に当たっての留意事項

この授業は、水準2の発展的水準科目であり、2年次での履修科目である。1年次に世界地誌および地球環境論を履修していることが望ましい。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

学習到達目標

資源、エネルギーの現状および問題点をひとつとおり把握し、理解するとともに、この種の問題に対しての問題意識を醸成する。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習